

山形県理事に就任して

(株)新東京ジオ・システム 代表取締役専務
奥山 清春



昨年5月の定時総会において、山形県理事に就任いたしました(株)新東京ジオ・システムの奥山清春です。歴史ある協会の理事として本協会の発展につながるよう頑張りますので今後ともよろしくお願いいたします。

私は昭和42年に神奈川県(足柄上郡)に生まれ、海(湘南海岸)や山(箱根)に近い閑静な環境で育ちました。中学は兄の影響で野球部に所属しました。当時先輩が使用していた野球用品としては珍しいメーカー(アデ○ダ○)のグローブに憧れ、自身も購入しましたが30年以上たった今でも大事に所有しております。高校は小田原に通い陸上競技部に所属しました。校訓が『堅忍不拔』『至誠無息』という学校で、又校風が“自由”“自主性を重んじる”ということもあり、勉学も部活動も生徒が主体的にやる高校でした。その為勉学のほうは・・・という状況でした(苦笑)。高校時代の陸上部仲間は今でも定期的に交流があり、毎年一度正月に集まり、昔話に花をよく咲かせています。大学は法律学科に進学しましたが、今では法律関連の記憶はさっぱりで、記憶に残っているのは大学の校風柄、神道やら当時一般教養で選択した南アフリカの人種差別問題、片言のドイツ語ぐらいで懐かしく??思い出されませぬ。大学は文系でしたので勉学より友人関係との交流に渋谷の街で大部分の時間を費やした記憶があります。

その後バブル全盛期(最後?)の1990年4月に就職し、今の学生が困難を極めている就職活動がうそのような体験をさせていただきました。就職先はプリンターの企業でした。当時大学時代の友人と就職先の研究で“F1ブームのはしり”と“企業自体の若さ”“そろそろ世の中PC(パソコン)”からというなんとなくの理由で決め、無事就職することが出来ました。この会社では12年間勤め、最初に営業その後販売促進、最後の2年間は宣伝などの職場を経験させていただきました。その間、入社当時のバブルな時代からその後の不況による厳しい時代の両方を体験し、また社会人の基本・基礎知識をも学びました。今思うと企業風土は、平均年齢が若く元気がありブランドイメージもどちらかというと上り調子の成長企業で、また自らが動き提案しないといけない環境の中、仕事の喜怒哀楽を同期(同期入社は160名でした)や先輩・上司たちから教わってきました。

2002年に現在の(株)新東京ジオ・システム(山形県天童市)に入社しました。既に今年度で12年目になり、前職以上に“色々な経験”をし、現在に至るという感想です。山形や仕事及び役職柄前職とは全く違った環境でのスタートだったので最初は当然戸惑いもありましたが、「郷に入れば郷に従え」的なものや前職での経験を生かしながら頑張っております。世間の景気の動向とい

うより“公共工事の動向”が気になりますが、仕事の内容が国民及び県民・市民の安全・安心を守り、又最近の自然の異常気象もあり災害及び予防に対する考え方が少し変わった状況のなか世の中に必要とされる企業・必要とされるべき企業として今後とも居続けるために邁進してまいります。

子供は小学1年生の娘と幼稚園年少の息子の2人です。娘は水泳教室のほかに嫁と喧々諤々やりあいながらエレクトーンの練習に日々（??）励んでいます。一方息子は今後“野球”か“サッカー”のどちらかをとりあえず習わせようかと考えております。なぜならせっかく御当地のモンテディオ山形があるサッカーか、自分自身が経験し少しは教えてあげられる野球か選択するのが今後の親の勝手な悩みの種です（どっちもやらなかったり・・・）。いずれにしましても、子供の教育・子育てには体力の必要性を痛切に感じながら奮闘しています。

以上私の生い立ち及び近況を書かせてもらいました。この度、55年を迎える歴史ある協会の理事を拝命しましたのも、もっと地域・業界の為にもっと頑張れという諸先輩方の叱咤激励と受け止め今後微力ながらも精いっぱい取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



長女と長男です



モンテディオ山形観戦中